

武井武夫 たけい たけお 繙譯家。明治四十二年四月十五日（戸籍四十四年二月二十五日）東京生れ、昭和五十六年十一月二十六日歿（九一〇一八二）。筆名秋山正夫、若林二郎。昭和二年第一高等學校入學と運動公園はり五年除名処分。翌年の日本共產黨入黨、八年檢舉。十八年同盟通信社入社。終戦直後、原爆文獻第一號となる『原予爆弾』（昭和二十年九月）二十日同盟通信社「同盟叢書」（を著はす。二十一年『ヨアカハタ』編輯勤務、二十五年公職海放処分、二十八年以降雑誌『前衛』等の編輯に携はる。

譯著の、シオドー・ルーズヴェルト撰『ヨアメリカ人生讀本』（樺山寛一共譯、昭和十六年四月五日非凡閣）、ヨハン・ゲットリプ・ナイヒテ著『實踐のたのむ哲學』（昭和十八年九月十日大智書房）、『絞首台からの叫びー革命家フリーチクの生涯』（秋山正夫名、昭和二十四年十一月）二十日正旗社）、ユリウス・フリーチク著『絞首台からのレポート』（秋山正夫名、昭和二十九年二月五日青木書店「青木文庫」）等。『多摩川の畔りにてー武井武夫追悼文集』（昭和五十八年一月）二十日武井富美子編輯）がある。

